



国民春闘共闘

第33号

2016年6月29日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

2016 夏季一時金・第2回集計

単純平均 657,374 円・1.96 ヶ月

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は6月27日、2016年の夏季一時金第2回集計を行いました。

<回答状況>

	2016年	2015年
登録組合数	734	745
回答組合数	416 (56.7%)	341 (45.8%)
うち上積み獲得	81 (19.5%)	75 (22.0%)
うち妥結組合数	205 (49.3%)	154 (45.2%)

<回答内容> (月数および金額)

集計方法&対象		2016年	2015年(同期)	(前年比)
単純平均	月数	1.96	1.93	+0.03
	額(円)	657,374	661,362	-3,988
加重平均	額(円)	655,232	591,883	+63,349
	組合員数(人)	115,062	80,625	

*額または月数のみの報告があるため、双方は連動しません。

<前年実績と比較可能な組合における回答状況(金額での比較)>

	2016年	2015年
前年との比較が可能な組合数	221	182
うち前年額以上の組合	140 (63.4%)	119 (65.4%)
(前年超)	128	107
(同 額)	12	12

<前年実績と比較可能な組合における単純平均額・月数の比較>

		組合数	金額・月数	前年実績	(前年比)
単純平均	額(円)	221	675,411	672,210	+3,201
	月数	342	1.96	1.95	+0.01

<集計結果の概要>

回答引出し・妥結状況

2016年夏季一時金の第2回集計（6月27日現在）には、別表の23単産・部会から報告が寄せられました。

回答を引き出したのは登録734組合の56.7%にあたる416組合となっています。前回調査（6月10日現在：274組合・37.3%）から142組合・19.4ポイント増と大幅に上昇しています。前年同期（2015年6月22日現在：341組合・45.8%）を10.9ポイント上回っており、支給日を前に各組織で積極的な回答引出しが行われたことが伺える状況となっています。

回答を引き出した組合のうち、数次にわたる上積み回答を引き出したのは、JMITU（15組合）、民放労連（13組合）、日本医労連（12組合）、地方マスコミ（11組合）、生協労連（10組合）、出版労連（8組合）、化学一般労連（7組合）、全倉運、地方登録（各2組合）、全農協労連（1組合）の計81組合・19.5%となっています。前回調査から43組合・5.6ポイント増え、前年同期を6組合上回っています。春闘でのベア獲得と一時金にこだわった交渉を進める民放労連では、広域U局労組共闘などで粘り強いたたかひが行われ、回答引出し20組合のうち65%にあたる13組合が一時金の上積みを獲得しています。

現時点で妥結もしくは妥結方向となっているのは205組合で、妥結率は49.3%となっています。前回調査（101組合・36.9%）から倍増し、前年同期（154組合・45.2%）を51組合・4.1ポイント上回っています。

全体の回答内容

金額回答のあった242組合での単純平均額（一組合あたりの平均）は657,374円となっています。前回調査665,581円から8,207円減となり、前年同期661,362円を3,988円下回っています。加重平均額（組合員一人あたりの平均）は655,232円で、前回調査670,421円から15,189円減となりましたが、前年同期591,883円を63,349円上回っています。

月数回答のあった364組合の単純平均月数（一組合あたりの平均）は1.96ヵ月で、前回調査から0.03ヵ月減少しましたが、前年同期を0.03ヵ月上回っています。

最高額は出版労連の組合での平均250万円余となっており、前年同期（21組合）を越す25組合が100万円以上の回答を引き出しています。

月数では出版労連の2組合が5ヵ月分の回答を引き出したのをはじめ、32組合が3ヵ月以上の回答を引き出しています。前回調査（26組合）から6組合増え、前年同期（21組合）を11組合上回っています。

単産・部会別にみると、民放労連、出版労連、映演労連、地方マスコミなどマスコミ関係のほか、化学一般労連、建交労・鉄道、JMITU通信産業本部で額・月数ともに全体平均を上回り、外銀連、JMITU、全倉運、特殊法人労連では月数で2ヵ月以上となっています。

規模別に月数平均をみると、前回調査同様に「29人以下」、「30～99人」の中小規模組合が2ヵ月以上の水準を維持し、前年同期比では「29人以下」0.01ヵ月増、「30～99人」0.04ヵ月増、「100～299人」同月数、「300～999人」0.05ヵ月増、「1000人以上」0.03ヵ月増といずれも前年同期以上となっています。

前年実績比較可能組合での回答状況

同一組合での対比が可能な 221 組合での単純平均額の結果を前年実績と比べると、今期は 675,411 円で、前年実績 672,210 円を 3,201 円上回っています。金額で比較可能な 221 組合のうち 63.4%にあたる 140 組合が前年実績額以上の回答を引き出し、このうち 128 組合（比較可能組合の 58%）は前年実績額を超える回答を勝ち取っています。

月数で比較可能な 342 組合の単純平均月数は 1.96 ヶ月で、前年実績比 0.01 ヶ月増となっています。JMITU の組合で前年実績比 0.8 ヶ月増の回答を勝ち取ったのをはじめ、比較可能 342 組合のうち 80%にあたる 274 組合が前年実績を確保しています。

全倉運、民放労連、地方登録組合、地方マスコミで前年実績から若干マイナス傾向となっていますが、その他の単産・部会では前年実績並もしくは若干のプラス傾向となっています。

非正規雇用で働く仲間の賃上げ状況

パートやアルバイト、再雇用など非正規雇用で働く仲間の夏季一時金は、別表の 8 単産 134 組合で 235 件獲得しています。前回調査（6 月 10 日現在：7 単産 83 組合 153 件）から 51 組合・82 件増えましたが、前年参考値（2015 年 7 月 10 日時点：8 単産 152 組合 238 件）を若干下回っています。

このうち、パートやアルバイト（再雇用・継続雇用で働く仲間を除く）などを中心とした時給制で働く仲間の一時金獲得は、生協労連（73 件）、日本医労連（49 件）、JMITU（6 件）、全印総連、出版労連（各 3 件）、建交労、映演労連（各 1 件）の 7 単産で 136 件の成果獲得となっています。

月数回答報告のあった 90 件での単純平均月数は 0.737 ヶ月で、前年参考値（116 件平均 0.74 ヶ月）とほぼ同水準となっています。金額では 38 件平均 42,713 円で、前年参考値（38 件平均 53,281 円）を 10,568 円下回っています。前年実績比較可能組合での回答状況をみると月数・金額ともに前年実績並みとなっています。JMITU の組合で正規雇用労働者と同月数（2.05 ヶ月）のパートの一時金を獲得し、出版労連からは「一時金 1.5 ヶ月＋決算賞与 10 万円」を勝ち取ったなどの報告も寄せられています。

日給制は前回調査と変わらず出版労連での 1 件となっています。月給制（臨時・準職員・契約社員など）で働く仲間の一時金獲得は全農協労連、建交労、生協労連、出版労連、映演労連の 5 単産で 78 件の成果を獲得しています。

月給制で月数回答報告のあった 63 件での平均月数は 1.024 ヶ月で、金額では 18 件平均 139,361 円となっています。建交労で 1.53 ヶ月・524,346 円、生協労連で 1.75 ヶ月・322,190 円など高水準の回答も引き出しています。

また、再雇用・継続雇用で働く仲間の一時金は、5 単産で 20 件の成果獲得となっています（時給制 10 件、月給制 10 件）。時給制では 0.538 ヶ月（8 件平均）・55,097 円（4 件平均）、月額では 1.283 ヶ月（7 件平均）・83,000 円（4 件平均）となっています。

STOP暴走政治、戦争法廃止！ 壊すな憲法
暮らしを守る共同で、賃上げと雇用の安定、地域活性化

<参考> 他団体の夏季一時金集計結果

●連合の夏季一時金（6/1集計）は以下のとおりです。

金額（円）

集計組合		加重平均		単純平均	
組合数	人数（万）	2016年	前年実績	2016年	前年実績
1,222	94.6	785,459	758,923	539,612	545,086

月数（ヵ月）

集計組合		加重平均		単純平均	
組合数	人数（万）	2016年	昨年実績	2016年	前年実績
1,835	151.6	2.47	2.39	2.17	2.12

●日本経団連の夏季一時金妥結集計（大手企業＝6/7現在）は以下のとおりです。

集計対象	集計企業	加重平均額		単純平均額	
		2016年	前年実績	金額	昨年実績
大手企業	95社	927,415	893,941	760,730	739,927